

教科	芸術	科目（単位数）	書道Ⅰ（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の基礎的な能力を育てる。 ・感じとる力、思考する力、自分を表現する力を身に付ける。 ・個を認め合い、自分らしさを追求する。 						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	1 オリエンテーション 書写と書道、用具用材の使用法 基本姿勢や書体等について 2 楷書の学習 楷書古典の直感的鑑賞	★書道の基礎基本を身に付ける。 ★感じたことを言葉で書き表す。 ★新たな気づきを見つける。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	楷書古典の臨書 ①牛橛造像記 ②九成宮醜泉銘 ③自書告身	★古典の分析的鑑賞を行い、特徴を見つける。 ★特徴（二つ以上）を意識して書けるようになる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	3 文化祭の作品制作 楷書の創作	★作品に込める思いを考え、言葉で書き表す。 ★制作意図に即した古典を選び、その理由まで述べられるようになる。 ★古典の特徴を生かした制作をする。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	4 行書の学習 行書古典の臨書（蘭亭叙） 5 篆書の学習 篆書の筆法について 6 篆刻の学習 一字印の創作	★行書の特徴を書けるようになる。 ★行書を日常に生かす。 ★篆書の特徴を書けるようになる。 ★余白の学習を通して日本文化について考える。 ★制作や相互鑑賞を通して、鑑賞力を向上する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～3学期 学年末考査	7 仮名の学習 古筆の臨書 ①いろは（単体） ②三色紙（散らし書き） 8 実用書式の学習	★仮名の成り立ちを知る。 ★日本の美意識を考える。 ★仮名の特徴を書けるようになる。 ★連綿や散らし書きを書けるようになる。 ★既習事項を日常書式に生かす。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査 ～年度末	9 漢字仮名交じりの練習 創作（自由創作）	★墨色、線、用具用材における表現効果を知る。 ★制作意図に応じた表現を考える。 ★相互鑑賞を通してより良い作品を仕上げる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 （教科書・副教材）	書道Ⅰ（光村図書）、ワークシート、パワーポイント、印材等						
学習方法	グループワーク						
評価方法	授業態度・課題(約二割)…出席、遅刻、発表、片付け等で評価する。 ワークシート(約三割)…鑑賞学習の記述内容や感想などで評価する。 作品(約五割)…目標に沿った表現ができているかを評価する。						

